

「町内のみなさん。おはようございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき本当にありがとうございます。この場をお借りしましてお訴えをさせていただきます。大変お騒がせしますが、しばらくの間ご協力をお願いいたします。」

さて、みなさん。いよいよ、総選挙が目前に迫ってまいりました。国民いじめの、いまの政治を大本から切り替えるため、みなさんのお力で、日本共産党を大きく躍進させていただきますよう、心からお願いいたします。私たちは、比例中国ブロックで、中林よし子元衆議院議員の議席回復に全力をつくしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

福田首相が、安倍首相に続いて、何の反省もないまま、またも政権を投げ出し、お祭り騒ぎで麻生内閣ができました。こつも矢継ぎ早に政権が変わるのは、「自民、公明の政治はもう限界」と替で言われているように、自民党、公明党の政治が、2つの点で、行き詰っているからです。

そのひとつが、「構造改革」の名で、大企業のもつだけ応援し、庶民の暮らしを痛めつけてきたため、貧困と格差が広がり、明日が見えない状況をつくりだしてきた行き詰まりです。人間らしい労働のルールが壊されている。社会保障費を、毎年削り、後期高齢者差別医療制度を導入する。毒入りの輸入米を食用に転売する。穀物や原油の価格を押し上げている、投機マネーを放置し、国民生活に重大な影響をあたえる。こつこつ間違った経済政策を根本から切り替える必要があります。私たち、日本共産党は、そのために、みなさんと力をあわせ、全力をつくしてまいります。

もうひとつが、アメリカいいなりで、自衛隊を海外派兵してきたこの行き詰まりです。

福田首相は、アフガン戦争をおこなっているアメリカ軍に給油するため、海上自衛隊を来年も派兵するよう、なにがなんでも、法律を、延長しようとしてきました。しかし、国民の強い反対で、与党に亀裂が入ったことが、政権を投げ出した要因になっています。報復戦争がアフガニスタンの治安をますます悪化させ、多くの市民を犠牲にしています。戦争で、紛争を解決することは決してできません。アメリカ軍に補給する油があるのなら、原油の高騰で苦しんでいる農業者や、中小業者にこそ、補給すべきではないでしょうか。

いまこそ、大企業中心・アメリカいいなりの政治から、国民中心の政治へ、切り替えることが、つよく求められています。

さて、みなさん。私たちが、国民生活の充実を訴えると、自民党、公明党はもちろん、民主党までも、「財源がない」と開き直り、消費税の値上げの議論に入ります。しかし、(89年に)消費税が導入されて、私たちが、納めた消費税は、百88兆円。同じ期間に、法人税の減税は、百60兆円です。私たちが、納めた、消費税の大部分は、大企業の減税の、穴埋めに使われただけで、福祉や医療に使われたわけでは、決してありません。

資本金10億円以上の大企業は、今、史上空前の大儲けを上げています。ところが、国に払う税金は、減税、減税の連続で、かつての、3割も少なくなっています。

私たち、日本共産党は、大企業や大資産家への適正な課税、軍事費の削減、米軍再編への税金の投入をやめさせ、9兆円の財源を確保します。そして、それを国民の生活に使います。

「町内のみなさん。自民党と民主党の大連立や、民主党と国民新党の合併がとりやめられてきたように、自民党の悪政に、根っこで回調している民主党や国民新党に、大企業中心・アメリカいいなりの、政治の中身を変える力が、本当にあるでしょうか。政治の中身を変えないまま、政権の担い手だけを変えても、日本の明日は開かれませんか。」

くらしの問題でも、平和の問題でも、国民の立場ががんばる、日本共産党を、大きく躍進させていただくことが、政治の中身を変える決め手です。比例中国ブロックで日本共産党の議席が回復すれば、中林よし子元衆議院議員が国会でがんばります。みなさんの期待に必ずこたえます。みなさんのお力をぜひお貸しください。

どうか、みなさんの大きなお力添えで、日本共産党を大きく躍進させていただきませう、重ねてお願いいたします。お訴えとさせていただきます。どうか、よろしくお願いいたします。